

平成29年度 評価結果

高田カトリック幼稚園

1. 園の教育目標

カトリックの「愛の教え」に基づいて、一人ひとりの人格を尊敬と愛情をもって受け入れるように努める。学校教育法・モンテッソーリ教育法を総合的に取り入れ、幼児それぞれの発達に応じた自主活動を行い、他の幼児や教師たちと楽しく関わりあいながら、ゆたかな人格形成ができる適切な手助けと環境を提供するよう努める。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

- * 職員の研修
- * 保育環境の充実と見直し
- * 安全管理

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
* 職員の研修	<p>日々の子どもの姿を丁寧に記録することを通して、子どもを観察する力を一人ひとりが養うように努めた。</p> <p>園内研修において、子どもの姿や育ちについて分ちあい、新教育要領に示される卒園までに育ててほしい子どもの10の姿と照らし合わせながら、子どもの中に、何が育っているか、育てていくのかを共有し、日々の保育の課題を明らかにするよう努めた。</p> <p>今年度も、作業療法士と連携し、発達の課題と子どもへの接し方について教職員が共通理解するためのカンファレンスを行い、また自らが課題意識を持ち研修会へと赴き、各々の実践力の向上へとつなげた。</p> <p>モンテッソーリ教育の実技研修を引き続き行ったが、大きな行事がある2学期は、その準備や内容の検討のため十分時間を確保することが難しかった。また、経験年数が様々なので、実技と共に、実践理論を深めることも必要であると感じた。</p>
* 保育環境の充実と見直し	<p>モンテッソーリ教師の役割を理解し、子どもの自立を助けるよう各々が心掛けて日々の保育にあたり、愛情と秩序感のある空間を作るように皆で努めた。今年度は、縦割りクラス担任を初めて経験する者もあり、経験者が中心となって声をかけ互いに確認しあいながら、クラス的环境を作るよう努めた。</p> <p>しかし、まだまだ子どもの興味・関心を十分に捉えることができず、教材や教具の進め方、出し方、種類などにもっと検討の余地が</p>

	<p>あったと振り返る者が多かった。</p> <p>以前からの課題であった自由選択活動の時間と学年別活動の時間については、自由選択活動の時間を大切にしながら、行事や年齢別の活動を行うよう、1日・週・月の計画を学年間や全体で話し合い、確認し合うようにした。また子ども達にも見通しをもって園での生活ができるようにと、前もって伝える工夫をした。その結果、子ども達も一日をどう過ごすか、その年齢なりに、見通しをもって安心して、自分で決めて生活することができた。</p> <p>子ども達が興味をもって観察等ができるように、クラスや園内にいろいろな動植物を飼育したり育てたりするようにしてきた。しかし、世話の部分では大人がしてしまうことが多かったので、子どもができる方法や道具等を考え、子どもの生活の中に動植物との関わりが深まるよう検討していきたい。</p> <p>戸外での遊びについては、環境の作り方や遊び方の紹介について引き続き検討していきたい。</p>
*安全管理	<p>年2回専門家による点検を行い、傷んだ箇所の修理を行った。引き続き、職員による日々の点検を大事にしていきたい。しかし、点検のマニュアルを検討するまでできなかったため、次年度には、点検マニュアルの見直しをしていきたい。</p> <p>地震・火災・不審者に対する対応について、避難訓練等を計画し実施し、緊急の時の教員の役割、連携した動き方の確認を行った。今年度は、さらにJアラートなど新たな対応があげられ、危機管理マニュアルの再検討が必要となった。</p>

4. 評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	
良好である	教職員間および保護者とも十分に緊密な連絡を取り合い、教育内容の向上・改善につながった。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
*職員の研修	<ul style="list-style-type: none"> ・新教育要領の施行に合わせ、園全体で目指す保育や子どもの姿を共有し、一人ひとりが子どもを観察する力を養い、子どもの内面や育ちを捉え、分かち合う。 ・モンテッソーリ教育の実技練習を通して、また理論の学び直しをすることを通して、実践力を高めていく。

<p>*保育環境の充実と見直し</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・深い観察により、子どもの発達・興味関心を知り、引き続き子どもの発達・興味関心にあった教材・教具の準備し、自発的に活動が広がっていくような環境を作っていく。園内の動植物に子どもがもっと親しみを持って関われる環境と戸外遊びについて検討する。 ・自由選択活動の時間を大切にしながら、学年別活動などをどのように生活に取り入れていくか、子どもの姿から学びながら、引き続き話し合い見直しを行っていく。
<p>*安全管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・火災・地震・不審者を想定した避難訓練を引き続き行うほか、Jアラートなど他の危機に際してもどのように対処するか、避難方法や教職員一人ひとりが連携して動けるよう、危機管理マニュアルの見直しを行い、更に職員間で共通理解を図る。 ・災害時の園児の保護者への引き渡し方法を十分検討し、保護者とも共有できるよう働きかける。 ・園内で危険が予想される個所を把握し、事故防止に努める為、園内の危険マップを作る。 ・救命講習を受け、けがやアレルギーなどによる体調の急な変化の際、職員の役割、連携した動き方の再確認を行う。

6. 関係者の評価

<p>*保育について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園児達の日常の活動を大切にしながらも、季節毎の行事や横割り活動等さまざまな活動があり子ども一人ひとりに寄り添った保育をされていて保護者として安心して子どもを預けられている。 ・個々の興味や関心を引き出す選択活動が行われていて、子どもの新たな一面を知ることができ嬉しかった。 <p>*安全について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カメラが設置され園に出入りする人の確認ができるのは安心できる。 ・定期的な避難訓練があり、子ども達にもきちんと理解でき実行できる環境にある。 ・施錠等は徹底されている。しかし油断はできないことで、職員一人ひとりの意識を高めていくことが大切と思う。また、周りの人への声掛けでの協力が必要と思う。 <p>危機管理という意識の向上が大切である。</p> <p>➡ 訓練や研修を通して、職員一人ひとりの危機に対する意識を更に高めていくように努めます。</p>

*要望（保護者から）

・AEDの設置、講習会受講

事務所前ロビーなど、保護者も含め全員が確認できる場所に設置して頂きたい。

➡ AEDについては、救命講習で職員皆が使用できるように練習を重ねていますが、まだ設置はできていません。早い時期に設置できるように努めます。

・大きな震災等の場合の園児の引き渡し方法について園と保護者とで共通意識を持ちたい。

登降園時（バス乗車中も含め）の所在確認や引き渡し方法等。保護者も公共交通機関が使用できなくなった場合のお迎え方法や時間など（自宅、職場から）今一度しっかりと見直して園と共有しておきたい。

➡ 年度始めに、保護者の方に災害時のお子様の引き渡しについてお尋ねするカードを配布し一緒に確認するところから始めたいと思います。